

クラス番号	914	担当教員名	杉浦 顕
テーマ	医療ソーシャルワークの基礎的な課題を考える 「傷病から起こる生活障害の学び」並びに「援助関係の構築と社会資源を活用」		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： (1) 目的 疾病がもたらす生活障害は様々な形を表出する。そこで患者・家族が傷病を抱えて生活を維持していくことの大変さを共感し、その生活障害の改善や軽減に医療ソーシャルワーカーはどのように関わるのか、また関われるのかを倫理を織り込みながら基本的な課題を皆さんと一緒に考えたい。 (2) 内容 1. 疾病が及ぼす生活障害の理解 2. 医療ソーシャルワーカーと倫理の理解 3. 援助関係を成立させる面接技術の修得 4. 援助に伴う社会資源の概要と活用 5. 医療機関内での連携や協働のしかた 6. 地域関係機関との連携や協働のしかた 7. 医療の機能分化の概況の把握 8. 現代の医療事情と療養生活への影響 9. 当事者グループの実情とその活動の実際 などを一緒に考えます。 (3) 方法 1. 事例などを活用したグループ討議 2. 面接場面などのロールプレーの実施 3. K J 法等を利用しての課題の絞り込みと理解 4. 施設機能の把握のための見学 5. 当事者グループの活動の実際の見学 授業計画： 基本的には医療福祉コースの共通要素によって進めます。 前期 1. 傷病がもたらす生活障害のイメージづくり（疑似体験やモデル的に） 2. 患者と家族との関係の理解 3. 社会資源の利用のタイミングと方法を学ぶ 後期 1. 実際の現場の機能や働きを見学等により直に学ぶ 2. 医療ソーシャルワーカーの現場力を聞く			
担当教員からのメッセージ			
私は日本福祉大学に赴任する前は急性期医療を中心とするいわゆる総合機能を持った病院で39年間医療ソーシャルワーカーとして働いてきました。また、急性期医療におけるMSWの活動と急性期医療機関でありながら居宅介護支援事業の実施経験や退院支援業務に深くかかわってきました。その歴史の中で時代とともに変化するSW業務と変わらないSW業務とを見てきました。 MSW道を皆さんと共に考えられるのなら幸せです。			